



# GREEN Rotary-Club

2012-2013年度 テーマ

国際ロータリー

「奉仕を通じて平和を」

R.I. 会長 田中 作次

地区方針

「心をひとつに」

R.I.2720 地区 ガバナー 岡村 泰岳

熊本グリーンR.C.

「絆を深めよう」

熊本グリーンR.C. 会長 山下 佳介



■例会日：毎週月曜日 18:30~19:30  
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル  
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：山下 佳介 ■幹事：本田 悟士 ■会報担当：江上 泰弘  
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内  
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@io.ocn.ne.jp

国際ロータリー 第2720地区 **熊本グリーンロータリー・クラブ週報**

【2012年11月26日】

## 第1069回

2012-2013年度 第17回

### 【例会】

1. 開会・点鐘 18:30

「手に手つないで」(ロータリーソング)

### 2. 食事と交歓

#### 友情の握手

会長スピーチ 山下 佳介 会長)

最初に連絡事項があります。本田パストガバナーが発行された言霊集をクラブで一括購入しましたので、本日会員の皆様に1部ずつ配布しております。また追加購入されたい方は、用紙を回します。必要部数ご記入下さい。この言霊はとてもよい言葉が簡潔に書かれています。私の会社でも毎月掲示板に貼っています。これからの会長挨拶で、ひとつずつご紹介して行きたいと思います。

早速本日ひとつご紹介します。

『人生すべて当たりくじ』希望の大学や会社に入れなかったり、その後自分が思いもしないところに人事異動があると、ほとんどの人が自分は自分の事を「外れくじだ」と思ってしまいます。そのように思い続けていると、将来も本当に外れくじになってしまいます。ですから、自分はすべて「当たりくじ」と思ってやっていくことが大事です。環境変化に対応出来ることで当たりくじと信じることで自分の場を当たりくじにしていく。これが人生を創る要諦です。(ロータリークラブの会長職は外れくじではありません、当たりくじです。)とありますのでまだ会長職の当たりくじを引



かれてない方は早い者勝ちです。

さて先週は、我が母校で息子の在籍する大津高校サッカー一部が、全国高校サッカー選手権熊本大会でやっと優勝することができました。ルーテル高校との接戦で延長の末勝つ事が出来ました。大津高校と言えば、熊本では伝統校になってきましたが毎朝6時からの朝練など、やはり練習量が違うと思います。

また、新聞にも掲載されましたが、その試合の前日は大津高校恒例行事のフルマラソン大会もありました。その中でサッカー一部は殆どが上位だったようです。因みに、息子も4時間ほどで完走し、800人くらいの中で92位だったそうです。私が走るのには苦手な分、凄いなと思いました。

最後に本田幹事、今日の卓話よろしく願います。

### 幹事報告 本田 悟士 幹事

#### ■ 例会取止め・変更

##### <取止め>

下記の例会を定款第6条第1節に基づき、取り止めます。

【熊本水前寺公園RC】12月26日(水)

##### <変更>

【熊本水前寺公園RC】

・12月12日(水)の例会は、熊本地方裁判所の裁判傍聴と見学の為、同日09:50より熊本地方裁判所にて行います。

・12月19日(水)の例会は、クリスマス家族会のため、同日18:30より行います。場所は未定です。

卓話  
予定

- 12/ 3 「知って得する遺言の話」 愛甲 三郎 氏 (熊本菊南RC)
- 12/10 「会員増強クラブ・フォーラム」
- 12/17 「年次総会」及び「年忘れ家族会」
- 12/24 祝日の為、例会休会(天皇誕生日の振り替え休日)
- 12/31 例会取り止め(定款第6条第1節に基づき)

グリーン・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。



## 【熊本西RC】

12月18日(火)の例会は、例会並びに年忘れ家族会のため、同日18:30より全日空ホテルニュースカイにて行います。

## 出席報告 松山 優喜 クラブ管理運営委

	会員総数	26名	出席率
11月26日	出席免除会員数	1名	84.00%
	計算上会員数	25名	
	出席会員数	21名	
10月29日	前回の出席会員数	22名	88.00%
	メイクアップ数	0名	
	修正出席会員数	22名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			

## 委員会報告

### ① パスト会長による「3分間スピーチ」

報告者:河野 景治パスト会長

私が入会したのは10周年の前年度、十時会員が会長をされていた年度で、生まれたときの赤子と同じで今でも十時会員には「会長」のイメージを持たせていただいております。そして、3年前に私が会長をさせていただいた訳でございますが、会長年度を迎える直前に当クラブにガバナー補佐を担う役回りがあるのを知り、準備をしていなかったのが困っておりましたが、大変ありがたいことにその大役に仙波会員が就任いただきました。そして後々に、このことが「九州縦断駅伝」につながる訳でございます。3年前の今頃、「仙波ガバナー補佐」から電話を頂き、「新幹線開業記念・九州縦断駅伝」の概要と、ガバナー補佐をやってみてのロータリーとしての事業の必要性、そして事業の実現性を熱く語られました。その内容は、皆様をご存知のとおり、ロータリー活性化のエポックとなるような感激する内容でありました。ロータリーでは、クラブ単独や合同での事業はあっても地区のみならず他地区との共催の事業で画期的なものでした。年度後半の2月頃より各クラブからの委員が出席され「夢のような」話の実現が進んでいきました。いろんな方法論があり、とりまとめが大変だろうと心配しましたが、あにはからんや、各クラブからの実行委員は、皆、仙波実行委員長の意を汲んだ、積極的でありながら協力的・調整力のある方々ばかりで、真に各クラブから選抜さ

れたロータリアンでありました。その後の事業の流れは皆様をご存知のとおりです。事業の実施そのものがロータリーの財産となったと存じますし、各ロータリアンは仙波ガバナー補佐・実行委員長からロータリー活性のプレゼントを頂いたことでありました。事業そのものは次の松村会長年度でのことですが、私の会長年度での大きな思い出でもございます。

### ② 第3回 親睦ゴルフ会報告

報告者:河島 一夫 ゴルフ世話人

寒さが気になったが、さほど風もなく天気で11月としては、ゴルフ日和の中のコンペだった。人数が7名と少なかったが、楽しくプレーすることができた。優勝者は中島会員、準優勝は山下佳介だった。長野会員と山下隆生会員は、カラーボールを使っていたので、カラスにボールを持っていかれて、長野会員は崩れたとのことだった。次回は、来年の4月を予定している。

### ③ ローターアクト12月例会及び忘年会のご案内

報告者:石浦 順一 アクト担当長

★第1例会

日時:12月4日(火)19:30~21:00

場所:熊本県立大学 総合管理学部棟4F

「演習室2」

内容:竹田昌世会員卓話

★第2例会「ボウリング例会及び忘年会」

日時:12月22日(土)17:30~

\*ボウリング 17:30~(於:大劇ボウル)

\*忘年会 ボウリング終了後

(於:地中海料理「タバス」)

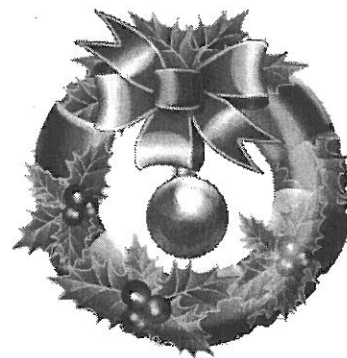
※会費:

ボウリング 1ゲーム550円×2ゲーム予定。

忘年会は5,000円

### ④ 「ロータリーの友」11月号の内容紹介

報告者:クラブ広報委員長 中島 光司 会員



## ●山下 佳介 君、本田 悟士 君

「今日の卓話者の本田ですが、「私の履歴書」のテーマで語れることが余りなく、退屈させてしまうことが危惧されます。いつか法律問題の卓話をさせて頂く時に今日の分もフォローしますので、ご容赦下さい。」

## ●上田 観一 君

「本日は本田悟士会員卓話を楽しみにしていました。宜しくお願い致します。」

## ●松村 秀逸 君

「先日、仙波会員、昨日、山下隆生夫妻には畑の草取りをして頂きありがとうございました。お礼にスマイル致します。」

## ●中島 光司 君

①「本日の卓話者、本田幹事にスマイルします。」

②「明日のゴルフに参加しますが、寒そうです。防寒対策をしっかり準備して行きます。皆さんもご用心を！」

③「プロ野球の無い夜は寂しいですね。WBCサムライジャパンの活躍を応援します。」

## ●松山 優喜 君

「前回のゴルフコンペではまぐれで優勝させて頂きましたが、明日のコンペは仕事の調整がつかず、参加出来ず申し訳ございません。おわびにスマイルさせて頂きます。」

## ●仙波 洋八 君

「本田幹事の卓話を楽しみにしています。交通違反では前科30犯以上ですが、その他の法律は犯していないつもりです。将来何かあればよろしくお願い致します。」

## ●葉 高源 君、栗山 義則 君、十時義七郎 君、趙 健次 君、大友 利行 君

①「受付で250円の本田パスタガバナーの「言霊集」を頂きましたので早速その4倍の感謝スマイルを致します。」

②「風邪が流行っています。年をとった方は特に用心して下さい。治りも遅いので肺炎にでもなったら大変です。」

③「本日の本田幹事の卓話、私は裁判員制度というものの必然性が分かりません。ついでに教えて下さいませ。」



## 3. 例会プログラム

卓話者:本田 悟士 会員 「わたしの履歴書」



## 【私の履歴書】

1 「私の履歴書」というテーマをいただいておりますので、私自身がこの職に就くまでとその後に分けて簡単にお話をさせていただこうと思います。

2 まず、就職前ですね。

昭和56年1月に熊本で生まれました。父方の実家は旧西合志町の黒石です。

2歳になって父の転勤で東京へ移り住みました。ちょうど東京ディズニーランド開園の年でした。

その年に妹が生まれており、私の兄弟はこの妹だけです(妹も来年には30歳になるのですが独身です。ブライダルを活用させていただくべきなのかもしれません...)。その後、小学校にあがるまで東京で暮らしております。

3 熊本へ帰ってからは高校卒業まで西合志で育ちました。今でこそ、須屋、黒石は熊本市のベッドタウンとして住宅も増えましたが、当時、私の校区(西合志東小学校校区)は畑と雑木林が多く、泥まみれになり、しばしばけがをしながら育ったように記憶しています。

熊本へ帰って1年ほどで母が胃がんで入院し、小学校3年の時に他界しております。

この頃は荒れていて?というのも変ですが、学級庭園のヘチマを切ったり、今思い返しても恥ずかしい悪行を重ねました。

4 中学校は附属中学校へ通いました。

私も家族も中学受験を考えていませんでしたが、叔父が塾で働いていて、勧められるままに受けたのが縁でした。

中学からの友人が今でも一番仲が良いですね。5人で今でも集まりますが、一人を除いて医師になっており、私だけ仕事も全く異なる方向へ来てしまいました。

異なる方向といえば、そもそも私は高校でも大学入学でも理系に進んでおり、この仕事とかぶったり(他の土業)、また、こういう言い方をすると計算高くていやですが私をとりたててくれる業種の親しい友人が少ないように思います。

5 高校は熊本高校へ進学しました。

尊敬できる、今でも尊敬している先生方との出会いにめぐまれた高校生活だったと思います。私自身一番好きで頑張っていた物理や数学の道を貫かず、結果を残せなかったのは心苦しいのですが、いまでも年に1度ほどはお会いして叱られたり励まされたりしております。

6 大学は東京大学です。

入学は理科一類でしたが、卒業は法学部です。

私はがっかりするくらいに運動神経が悪くて、球技などは目も当てられないのですが、その代わりに物理数学化学の理解は自分で言うのはおこがましいものの群を抜いていました。今思い返してみても、大学受験を理系でこなしたのは正解でしたね。

1, 2年はみな教養学部でその中で文科1~3類、理科1~3類と分かれています。3年へ進む際に専門を具体的にえらぶこととなります(時期は2年の半ば)。進学振り分けという制度ですが、その機会を利用して法学部へ移りました。

恩師や高校の級友からは未だに誤った選択と思われるようですが、小学校から中学校にかけてはもともと行政職や法曹の道を考えていたので、突然、まったく思ってもみなかった方向へターンしたわけではありません。

7 いまさら当時の将来の夢というのも恥ずかしいですが、その当時は銜いなく、とにかく悲劇を減らす、無くしたいと思っていました。大数的に見ると、事故にせよ事件にせよ自業自得にせよ不可抗力にせよ、悲劇にあうことはあり、悲劇に見舞われるひとはいます。

でもそれについて、運が悪かったでは済ませたくないし済ませられないとおもうのです。幼いおおざっぱな夢ですが、とにかく悲劇を減らしたい。そのためには、行政職について全体のパイを拡大して結果として下限を引き上げたり、法律職について個別具体的な悲劇を救済したりできればと、漠然と思っていました。

8 ところが、学問的には(というには初歩の初歩ですが)物理数学の法が心も脳も喜ぶし、成績も良かったのです...楽しいんですね。

そのような中、高校1年の時の担任から、東京大学には先ほど述べた進学振り分けがあるのでそれまで決断を待ってもいいではないかとのアドバイスをいただき、大学まで理系に留まりました。

ただ、やはり、将来の仕事として、研究職に身を起し続けるビジョンも描けず、もとの夢に戻って法学部へ移ったのです。

9 法学部では、当初、国家公務員になろうとも思っていたのですが、父が私の大学在学中に2度ほど手術をしたことがあって、地元熊本で出来る仕事と思い、法律職の中でも弁護士を選びました。

この点、誤解される方がおりますが、私は1回目の司法試験では合格できませんでした。あまのじゃくなところがあって、他のメンバーのように司法試験予備校など行かないと突っ張っていたら、短答試験(センター試験みたいなものです)からその質問・回答の形式にも尋ねられていることには応答できず、返り討ちに遭ってしまったのです。

その後、一念発起して、卒業した年に受けた2回目の試験で合格したわけですが、この部分も、現役合格と誤解されている方がいるので修正をお願いします。

残念ながら、法学の分野では神童というものでもなかったなあというのが、率直な思いです。自己評価で行くと、司法試験合格時の水準としては、10段階評価の7程度でしかなかったのではないかと思います。

10 妻と出会ったのは、この司法試験合格直後ですね。

女性と交際するときに学歴や今の立場を逐一説明するものではないので当たり前ですが、当初、妻には自分の学歴も司法試験に合格したことも知られていませんでした。

いざ、春から修習で東京(埼玉)へ行くという段になって告白した際には、驚かれたうえに交際を断られたのもいまとっては良い思い出です。振られたショックで、通町筋から西合志の黒石まで歩いて帰ったのも良い思い出です。

11 その後、司法修習という1年半(現在では1年弱)の研修があったわけですが、前後3か月ずつの座学の間に1年間実務研修があります。

この1年間にさらに3か月ずつ4つに分けられていて、検察修習、刑事裁判修習、民事裁判修習、弁護修習と各場所を回り、検察では取り調べや解剖実習、公判立会い、裁判所では筋の読み方や訴訟指揮について試されながら判決起案や執行、家裁修習などもしました。弁護士事務所での修習は基本的には今の仕事と変わりませんね。当時は責任がありませんでしたが。

修習の卒業試験が、いわゆる2回試験です。1回目が司法試験で、卒業試験が2回試験です。以前は落ちる人などほとんどいなかったのですが、私たちの前の期から合格者が1200名になっていて(十時会員の娘さんのころは、500名の狭き狭き門の時代と思いますが、私の頃も合格率は2.5%で結構頑張ったのですよ。今となってはロースクールも始まって合格者2000名以上だったと思いますが、新試験のことはよく分かりません。)、2回試験でも10名以上が落ちるようになっていたため、わりあい緊張して後記修習もまじめに勉強に励んだと記憶しています。

12 そのような経過を経て、今から7年一寸前に弁護士登録をして、以来、弁護士として仕事をしています。

ここからようやく後半ですが、結婚や子どもの誕生を除いてあまり大きなイベントはありません。弁護士になった当初は、債務整理、過払いの対応が全盛期で、それらの事件では若手も大分稼いだようですが、私はすぐに多重債務相談対応リストから名前を抜いてもらいましたので、あまり、“おいしい”思いはしていない方と思います。

級友の親御さんの会社が最初の顧問先でしたが、その後もそれまでのおつきあいや新しい出会いに恵まれて、勉強をさせていただきながら、自画自賛ですが良い仕事をしてきたつもりです。

13 今回のこの話を控えて、現在の持ち事件の内容を見てきたのですが、一番多いのは、交通事故関係です。

顧問先に共済があるのと、大手損保の関与先があるのが理由で、両方合わせると25件現在進行中の事件がありました。

次に多いのが企業関係の紛争(請負代金請求から取締役の対第三者責任、建物収去土地明渡、借地借家や労働関係、総会運営まで関わらねばならなかったレアケースも)で6件、次が家事(離婚、相続、養育費)で5件、交通事故・賠償責任保険以外の保険事案(モラルリスク)3件、その他一般民事(住宅瑕疵、借地借家)3件、医療紛争2件、行政訴訟2件、刑事事件2件、管財2件、後見関係2件といったところです。あとは日々の顧問先からの法律相談、委嘱事案に対応しながら毎日を送っています。

今日は、朝から家裁で遺産分割調停を済ませたあと、午後は福岡高裁で2件期日が開かれたものに対応してきました。

14 先ほど列挙した事件の種類について補足すると、

モラルリスクというのは簡単にいうと保険金詐欺ですね。自放火の火災保険金請求とか、レンタカーを利用しての事故の作出だとか…。管財というのは、裁判所から選任されて、破産者の財産の換価や逸出した財産の取戻しをしたり、最終的には配当まで行う仕事です。

法律問題の各論は、また、いずれ卓話の機会があったときにゆずることとしたいので、興味関心がある分野についてはおっしゃっていただけるとありがたいです。

15 そのほか、昨年は皆様に大変ご迷惑をおかけしましたが、弁護士会の執行部や委員会活動(民事介入暴力対策特別委員会、法教育委員会、倒産委員会等)、税務関係の研究会や医事関係で研修に出たりして過ごしています(その節は丸山先生にも大変お世話になりました。勉強になりました)。

2012年度第4回熊本グリーンRCゴルフコンペ							
日時:2012年11月27日(火) 場所:熊本中央CC 09:31スタート							
	Out	In	Gross	HDCP	Net	順位	新HD
長野 義文	48	48	96	0	96	6	
山下 佳介	48	54	102	20	82	2	18
中島 光司	46	43	89	9	80	1	6
廣坂 彰雄	52	47	99	12	87	5	
河島 一夫	56	56	112	26	86	4	
山下 隆生	55	61	116	32	84	3	29
田中 純司	62	75	137	36	101	7	

1組目  
山下 佳介、長野 義文、  
中島 光司、田中 純司

2組目  
山下 隆生、河島 一夫  
廣坂 彰雄

ニアピン No. 4 山下 隆生  
ニアピン No. X 中島 光司  
ドラコン No. 5 山下 隆生  
ドラコン 山下 佳介



## グローバル補助金でタイの農村に飲み水を

第5170地区(米国カリフォルニア州)は、ロータリー財団のグローバル補助金を利用して、職業研修チーム(VTT)をタイの遠隔地に派遣し、現地の農村の住民800人に安全な飲み水を提供しました。

地区財団活動資金(DDF)、参加クラブからの寄付、財団からの補助金を合わせた総額72,000ドルのこのプロジェクトは、8月に完了し、カリフォルニア州から2組のVTTが現地でプロジェクトを実施しただけでなく、タイから1組のチームがカリフォルニアを訪れ、小規模な水供給システムについて学びました。

サンノゼ・ロータリー・クラブ会員で第5170地区職業研修チーム委員長のロイ・ラッセルさんは、このプロジェクトについて、ロータリアンが自らの職業スキルを生かしながら文化交流を促進するものであると話します。「今回の水プロジェクトのように、目に見える結果を残せるプロジェクトは素晴らしく、プロジェクトの実施で培われた友情は今後も続いていくでしょう」

また、同地区のpast・ガバナーであるロジャー・ハスラーさんはVTTについて、「ロータリアンとロータリアン以外の人々が経験と知識を生かして、協力しながら重要なプロジェクトを実施できる素晴らしい機会」と話します。

### ニーズを特定する

水関係の専門家であるラッセルさんは、ベトナム人の妻を持ち、現地の事情に精通していました。当初は、ラッセルさんが率いるチームが現地に井戸を掘る計画でしたが、調査チームが現地を訪問したところ、村ではこれまで何度も井戸を掘った経験があるものの、いずれも失敗に終わっていることを知りました。

ラッセルさんは当時のことを次のように振り返ります。「これまで井戸のプロジェクトがいずれも成功していないことが判明し、正直、自信をなくしてしまいました。しかし、ある村人との会話から、数マイル離れた場所に水のパイプラインがあることが分かり、プロジェクトの方向性が変わりました」

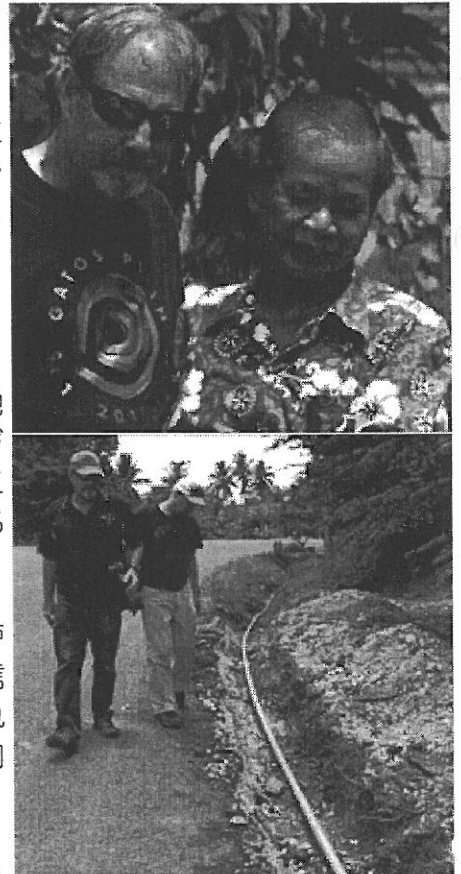
そこで最初のVTTが、既存の本水道管から、村の丘の上に設置された貯水タンクまでパイプラインを引く作業を実施しました。そこから水は村に流れ、各家庭に届く仕組みです。各家庭は使用量を測るメーターを基に、毎月小額の料金を支払って、このシステムを維持しています。

その後、サワンカローク・ノース・ロータリー・クラブのチームメンバー4

名がカリフォルニア州を訪れ、水道管建設、衛生、小規模な水システムの管理について学びました。8月には、プロジェクトを完了させるため、カリフォルニア州のもう一つのチームが現地を訪れましたが、本水道管の2つが破損してしまったため、数週間後にタイのチームが修復し、プロジェクトを完了させました。

ラッセルさんはプロジェクトについて、「村人は初めて、安全で信頼できる水の供給源を得ることができました。以前は乾季になると、水を別の場所から運ばなければなりませんでした。今は、家庭で蛇口をひねれば安全な水を利用できるようになり、より快適で健康な生活が送れるようになりました」

(国際ロータリー・ニュース:2012年10月9日)



写真上:マイケル・ハイマンさん(第5170地区職業研修チームリーダー)とモンゴロール・ピカナハリさん(タイ、サワンカローク・ノース・ロータリー・クラブ会員)。写真下:水供給のパイプラインを点検する研修チームメンバー